

炎症を起こしている皮膚または敏感肌

質問：センサー粘着テープによる皮膚の炎症や肌が敏感になるのを防ぐにはどうしたらよいですか？

皮膚の炎症または敏感肌の場合は、医療従事者にご相談ください。

患者様および医療従事者は以下の情報をお役立て下さい。これは、Dexcom とは関係のない臨床医が各自の知識と経験に基づいて発表した3件の臨床論文の要約です。なお、これらはDexcom 製品ではありません。また、Dexcom はこれらのアプローチに関する試験を行っておらず、これらの特定のアプローチを推奨するわけではありません。Dexcom CGM システムの使用手順については、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。

センサー装着部位の皮膚に炎症が生じたり、敏感になっていますか？その場合は以下のことや皮膚保護剤の使用、および専門家からのアドバイスを受けることを考慮して下さい。ただし特定の人に効果があったとしても、すべての人に対して効果があるとは限りませんのでご注意ください。これらのオプションが効果的かを判断するために、医療従事者とともに、いくつかの異なる製品や異なる方法を試していただく必要があるかもしれません。

これらのすべての製品がお住まいの国でご利用いただけるとは限りません。

一般的な考慮事項*

- 石鹸で洗い、完全に乾かします^{1,2}
- オイリースキンの場合は、角質除去（低刺激のもの）が推奨されます²
- 必要に応じて、乾いたカミソリで剃毛します³
- センサー装着部位には保湿剤を含む乳液やオイルを使用しないでください
- シャワー／入浴直後に湯気の立ち込めるバスルームでセンサーを挿入しないでください。ヘアドライヤーで湿気を除くか、乾燥した環境で貼付してください²
- 皮膚が汗ばみがちな場合は、固形またはスプレータイプの制汗剤（無香料）が役に立つ場合があります。制汗剤を、楕円形の輪郭を描くように皮膚に塗布し、10～15分間待ってから楕円中心部の清潔な皮膚にセンサーを挿入します^{1,2}

保護剤*

- 保護剤により粘着テープによる軽度の炎症を防ぐことができる場合があります⁴
- 保護剤で皮膚に楕円形の輪郭を作り、楕円中心部の清潔な皮膚にセンサーを挿入します
- センサーを挿入する前に保護剤を完全に乾かします^{1,4}
- 保護剤は1層にするか、または1層目が乾いてしまったら2層目を重ねることができます³
- 保護剤そのものが刺激性となる場合があります、アレルギーの皮膚浸透を妨げない場合もあります

製品	メリット	専門家のコメント ^c
Smith and Nephew IV Prep	- 防水性・通気性のある保護剤 - 消毒用アルコール付き	- 拭き取り - 皮膚上で完全に乾かしてください - 粘着増強性ありとして販売はされていませんが、粘着力がわずかに向上する可能性があります ^a
SurePrep™ (Medline)	- 透湿性保護剤 - 消毒剤を含む	- 拭き取り - 損傷のある皮膚の保護に使用可能
Smith and Nephew Skin prep/no-sting skin prep	- 防水性・通気性のある保護剤 - 適度な保護と適度な粘着性の組み合わせのため、一般的な選択肢 ^a	- 拭き取りまたはスプレー - Skin prep は傷のない皮膚の準備用、no-sting skin prep は傷のない／傷のある皮膚の準備用 - 防腐剤は含まれていない
Cavilon™ No Sting Barrier (キャピロン、低刺激性タイプ) (3M™)	- 防水性・通気性のある保護剤	- 拭き取りまたはスプレー - 消毒剤は含まれていない

保護剤（続き）

製品	メリット	専門家のコメント ^c
Skin Tac™ (Torbot)	- ラテックスフリー、低アレルギー性、ゴム不使用 - 皮膚を守り粘着性を提供	- 拭き取りまたは液状タイプ - Tac Away という名称の、対応するリムーバー有り - 敏感肌では炎症を引き起こす可能性あり
セキューラ（スミス・アンド・ネフュー） ^b	- 通気性があり、べたつかない	- 液状タイプの保護剤またはクリーム
Sensi-Care Barrier (ConvaTec) ^b	- シリコン系の通気性保護剤	- 拭き取りまたはスプレー

保護用パッチまたは絆創膏^{*†}

- ・ 保護用パッチと絆創膏は、保護剤が機能しなかった場合にのみ使用します
- ・ **Dexcom では、保護用パッチおよび絆創膏の使用に関する試験は実施していません。** 保護用パッチおよび絆創膏の使用については、医療従事者にご相談ください
- ・ パッチ／絆創膏を保護剤として使用する場合は、センサー用粘着パッチの下に貼付する必要があります^{1,5,6}
- ・ センサー用粘着テープを貼る前に皮膚に貼付
- ・ パッチ／絆創膏に楕円形の穴を開け、楕円中心部の清潔な皮膚にセンサーを挿入します

製品	メリット	専門家のコメント ^c
ハイドロコロイド材。 一般的な例： - DuoDERM® - Hansaplast blister plaster - Cutimed Hydro B - Stomahesive - レプリケア（スミス・アンド・ネフュー） - コムフィールプラス（コロプラスト） - バンドエイド® ブランドの HYDRO SEAL ^b	- ハイドロコロイドは厚い保護を提供 - 防水性 - ブランドによっては「極薄」タイプあり - ラテックスフリーもあり	- IV3000 またはテガダームなどの粘着パッチよりも強力な保護を提供 - Hansaplast は快適性に優れている - Cutimed は他製品より高価だが固定に優れている - 2～3枚を重ねなければならない場合がある
IV3000 （スミス・アンド・ネフュー）	- 透明の薄いフィルム、カットされている - センサー用粘着テープよりも刺激が少ない可能性がある	- 水、汗、湿度によって剥がれやすい ^a - 多くの患者が IV3000 では Tegaderm よりも皮膚反応が少ないと報告 ^a
テガダームまたはテガダーム HP	- 透明の薄いフィルム、カットされている	- HP は Holding Power（保持力）を意味し、標準的なテガダームよりも粘着力に優れていると考えられる - 水、汗、湿度によって剥がれやすい ^a
オブサイト／フレキシフィックス（スミス・アンド・ネフュー）	- 薄い透明なロールフィルム。適切なサイズにカットして使用	- センサーテープの上に貼付することにより粘着増強剤として使用することも可能
メピレックス（メンリッケヘルスケア） ^b	- 多孔質の柔軟な布地	- 希望する形とサイズに切りやすい

市販のステロイドスプレー[‡]

製品	メリット	専門家のコメント ^c
Pirinase（フルチカゾンプロピオン酸エステル点鼻薬）（一般名）一般的な例： - フルナーゼ [®] 定量噴霧式鼻過敏症治療剤 - 小児用フルナーゼ [®] 定量噴霧式鼻過敏症治療剤 - Clarispray [®] アレルギー用点鼻薬	- CGM 粘着テープによる軽度・中程度・重度の皮膚反応を予防できる場合がある	- センサー部位に2回噴霧。スプレーが乾くまで2分待ち、通常通りにセンサーを挿入 - Pirinase は18歳未満の小児には承認されていない

* Messer, L., & Beatson, C., Preserving Skin Integrity with Chronic Device Use in Diabetes. Technology & Therapeutics Volume 20, Supplement 2, 2018.

† Kamann, S., Heinemann, L., & Oppel, E., Usage of Hydrocolloid-Based Plasters in Patients Who Have Developed Allergic Contact Dermatitis to Isobornyl Acrylate While Using Continuous Glucose Monitoring Systems. Journal of Diabetes Science and Technology, 2019.

‡ Paret, M., Barash, G. & Rachmiel, M. "Out of the box" solution for skin problems due to glucose-monitoring technology in youth with type 1 diabetes: real-life experience with fluticasone spray. Acta Diabetol 57, 419–424 (2020).

1. Ives B, Sikes K, Urban A, et al.: Practical aspects of realtime continuous glucose monitors: the experience of the Yale Children's Diabetes Program. Diabetes Educ 2010;36: 53–62.

2. Chase HP, Messer L: Understanding Insulin Pumps and Continuous Glucose Monitors. 3rd ed. Denver: Children's Diabetes Research Foundation, 2016.

3. Karlin AW, Ly TT, Pyle L, et al.: Duration of infusion set survival in lipohypertrophy versus nonlipohypertrophied tissue in patients with type 1 diabetes. Diabetes Technol Ther 2016;18:429–435.

4. McNichol L, Lund C, Rosen T, Gray M: Medical adhesives and patient safety: State of the science: consensus statements for the assessment, prevention, and treatment of adhesiverelated skin injuries. J Wound Ostomy Continence Nurs 2013;40:365–380; quiz E361–E362.

5. Englert K, Ruedy K, Coffey J, et al.: Skin and adhesive issues with continuous glucose monitors: a sticky situation. J Diabetes Sci Technol 2014;8:745–751.

a 医療機関内での使用によるもの、または一般の意見、オンラインの論文、糖尿病のブログ、ソーシャルメディアによる裏付け。

b 代替の保護製品。

c 製品の使用説明書を必ず参照してください。